

御製 五首

平成九年

在ペルー日本大使公邸占拠事件

我が生れし日を祝ひたる集ひにてとらはれし人未だ帰らず

ブラジリア

赤土のセラードの大地続く中首都ブラジリア機窓に見え来

和歌山県

白浜に宿りし朝の海の面を旗なびかせて漁船行く

御所に帰らむとして

宮殿を出づれば暮るる冬空に月と明星並みて輝く

對馬丸見出ださる

疎開児の命いだきて沈みたる船深海に見出だされけり

第四十八回全国植樹祭

宮城県

荒れし野を再び森になさむとて集ひし人と苗植ゑにけり

第十七回全国豊かな海づくり大会

岩手県

放たれしまつかはの稚魚は大槌の海の面近くし^もばしただよふ

第五十二回国民体育大会秋季大会

大阪府

幼きも老も交れる人々の集団演技見つつ楽しむ

皇后陛下御歌 三首

平成九年

大震災後三年を経て

嘆^{なげ}かひし^{のち}後の^{まなこ}眼の^{ぬぐ}冴えざえと澄みゐし人ら何方^{いづかた}に住む

日本海重油流出事故

汚染されし石ひとつさへ拭^{ぬぐ}はれて清まりし渚あるを覚^{おぼ}えむ

香

かなたより木の花なるか香^{かを}り来る母宮^{ははみや}の御所に続くこの道